

11期 ミュージアムへ行こう2

京都市京セラ美術館に行こう

第4回テーマ 『ルーヴル美術館展 愛を描く』

事前学習

- 《1》 講座日時 令和5年7月6日
- 《2》 講座場所 ぐらし館 3F
- 《3》 講師 京都市美術館学芸員 中山摩衣子氏



概要

- ①ルーヴルの絵画コレクションより愛をテーマにした73点の展覧
- ②16世紀～19世紀半ばまでのヨーロッパ各地の主要作家による様々な愛の表現の名画
- ③愛と言うテーマを通して日本初公開のものも含めて新たな発見、出会いを提供
- ④18世紀フランス絵画の至宝、フラゴナールの『かんぬき』が26年ぶりに来日

《4》 講義内容

- ①プロローグ 愛の発明
- ②第1章 愛の神のもとに ―古代神話における欲望を描く
- ③第2章 キリスト教の神のもとに
- ④第3章 人間のもとに ―誘惑の時代
- ⑤第4章 19世紀フランスの牧歌的恋愛とロマン主義の悲劇

7/6に事前学習に参加し、ずいぶん真剣にメモをとったが、後日に中山講師のレジメを拝見して、聞き違い・勘違いも多くおおいに反省した。詳しい親切なレジメのおかげで助かった。

実際の見学

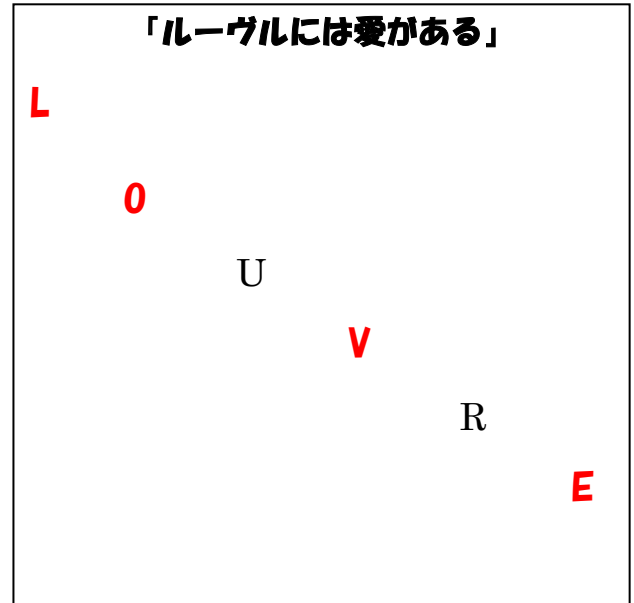
- 《5》 講座日時 令和5年7月13日(木)
- 《6》 見学場所 京都市京セラ美術館
- 《7》 集合場所 京都市京セラ美術館入り口前
- 《8》 概要

事前に中山講師から絵画の展示ルームは温度 $22^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $55\% \pm 5\%$ と厳しい管理を伺っていたが、展示ルームに入った途端、照明が異常に暗く、目の悪い私は全く何も見えませんでした。しばらくして目が慣れてきたことで、アテンダーの方にどうしてこんなに薄暗いのかと聞けば、現地ルーヴルと同じ条件で照明を調整しているとのことでした。絵画や彫刻などの美術品や工芸品などの保存管理には大変な手間・労力・経費がかかるものだと改めて感じました。今展示では年代別に1~4章に分けられ、4章以外は撮影禁止でした。だから参加メンバーも4章の絵画がメインの撮影となりました。

《9》 見学の内容



会場の京都市京セラ美術館は平安神宮の赤い大鳥居の真横



やっと写真撮影が許された
第4章 19世紀のフランスの牧歌的恋愛と
ロマン主義の悲劇
1821年 クロード=マリー・デュビュッフ
『アポロンとキュバリッソス』

会場が本当に暗くて、道順に沿って歩くのが精一杯であり、私には、とても詳しくは鑑賞
できませんでした。誠に申し訳ありません。

以上

2023.7.15

(ブログ担当 1班 K・T C・H K・K)